



PRESS RELEASE

2024 年 7 月 2 日
東経連ビジネスセンター

マーケティング・セールス戦略支援事業の新規採択について

東経連ビジネスセンター（以下、東経連BC／会長 宮本 保彦：（一社）東北経済連合会 副会長）は、「マーケティング・セールス戦略支援事業」において、1 件の採択を決定しましたので、お知らせいたします。

「(株)山形ミートランド」は、山形県を代表する食肉卸売・加工業者です。これまで山形牛ブランド「山形紅牛（べにぎゅう）」や日本初の生食用牛肉加工認定工場で製造した山形牛ユッケなど、美味しい山形県産牛肉を高い品質管理で提供してきました。

同社は新ブランドとして寒河江市幸生地区で肥育中の高品質交雑牛「幸生牛（さちうぎゅう）」の販路拡大を図るため、昨年度、東経連BCの支援により海外市場の基礎調査を実施しました。今回の支援では、昨年度の調査結果を踏まえ、台湾・香港等の中華圏や米国市場への展開に向けた輸出トライアルを実施し、本格的海外展開の橋頭堡の構築を目指します。

東経連BCとしては、今後人口減少による市場縮小が危惧される中、今回の支援による海外市場の販路確保が同社の成長につながるとともに、地域経済にも貢献できることを期待しています。

なお、本支援事業の採択件数は、今回の1 件を加え、累計4 6 件となります。

記

支援先	支援テーマ	所在地
(株)山形ミートランド	高品質交雑牛「幸生牛」の中華圏等への展開 に向けた輸出トライアル支援	山形県 寒河江市

以 上

■リリースに関するお問い合わせ先

【お問合せ先】

東経連ビジネスセンター 佐藤 健智

〒980-0021 仙台市青葉区中央 2-9-10 セントレ東北 11 階
（一般社団法人 東北経済連合会 事務局内）
tel. 022-397-9098 fax. 022-262-7055
<http://tokeiren-bc.jp/>

株式会社山形ミートランド 大沼 幸仁

〒991-0061 寒河江市中央工業団地 155-12
tel. 0237-83-0329 fax. 0237-83-0328
<https://www.y-meatland.com/>

■(株)山形ミートランド（山形県寒河江市/代表取締役 大沼 幸仁 氏）

- ・ **支援テーマ**：高品質交雑牛「幸生牛」の中華圏等への展開に向けた輸出トライアル支援
- ・ **支援期間**：令和6（2024）年7月～令和7年（2025）年6月末
- ・ **支援先概要**：(株)山形ミートランド（1996年8月設立、資本金10百万円、従業員72名）
- ・ **業務内容**：食肉の卸売・食肉加工製造販売
- ・ **支援内容**：同社は、山形県を代表する食肉生産・加工事業者。首都圏の焼肉店や全国の百貨店を対象とした厳選された山形牛の卸売業から事業を開始し、独自開発した山形牛ユッケ（ユッケについては、国内初の生食用牛肉加工認定工場）などで食品加工業へ進出。現在は、畜産から加工・販売、飲食店（焼肉名匠 山牛）経営という川上から川下まで一貫して自社グループで管理する体制を構築し、有機 JAS 認証取得、ISO22000 取得など高い品質管理を強みとしています。

こうした中、自然環境に恵まれた寒河江市幸生地区で肥育してきた新たな高品質交雑牛ブランド「幸生牛（さちうぎゅう）」の国内出荷を今年6月に開始しました。それに先立ち、東経連BCの支援により昨年9月～今年4月の間、販路拡大に向けた海外市場の基礎調査を実施し、和牛に負けない旨味（不飽和脂肪酸）やしっとりとしたくちどけの良さなど品質の高さを数値的に明らかにするとともに、台湾・香港や米国の流通関係者のコネクション等の開拓を行ってきました。

今回の支援では基礎調査の結果を踏まえ、中華圏・米国へのトライアル輸出に取り組み、「幸生牛」の本格輸出に向けて橋頭堡を構築することを目的とします。

そのため、本支援事業においては、

- ① 全体戦略設計・調整
- ② 現地コーディネータ等ネットワーク探索・紹介と試験的販売に向けた調整
- ③ 販促ツール助言等
- ④ 現地視察アテンド・展示会等の出展支援等を行う予定としています。

Yamagata Meatland group

2024年 6月開始 プライベートブランド牛

幸せを運ぶ牛
さち う ぎゅう
幸生牛

山形県寒河江市幸生



「幸生牛」 ロースステーキ用

「幸生牧場」での「幸生牛」肥育
（山形県寒河江市幸生地区）



<参 考>

Ⅰ.過去の支援案件の紹介

※過去支援事業の「マーケティング・知的財産事業化支援事業」及び「マーケティング・成長戦略支援事業」を踏襲

①斎藤マシン工業(株)(山形県天童市/代表:阿部 光成 氏)

- ・支援テーマ : コンパクトな植物油用濾過装置のセールス及びマーケティング支援
- ・支援期間 : 平成 23 年 7 月～平成 24 年 6 月

②(株)フラワート(秋田県由利本荘市/代表:嶋 真紀子 氏)

- ・支援テーマ : 世界初の“ジュエリング・フラワー (宝飾花)”のマーケティング支援
- ・支援期間 : 平成 24 年 1 月～12 月

③(株)四季菜(秋田県秋田市/代表:高橋 真木夫 氏)

- ・支援テーマ : 秋田産米粉を使ったスイーツの商品開発及びマーケティング戦略支援
- ・支援期間 : 平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月

④(株)味の加久の屋(青森県八戸市/代表:野田 一夫 氏)

- ・支援テーマ : 震災復興に向けた水産加工品のマーケティング戦略支援
- ・支援期間 : 平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月

⑤あおもり藍産業協同組合(青森県青森市/代表理事:吉田 久幸 氏)

- ・支援テーマ : 独自の染料化技術を核とするあおもり藍ブランド商品の開発及びマーケティング支援
- ・支援期間 : 平成 24 年 10 月～平成 25 年 9 月

⑥齋栄織物(株)(福島県伊達郡川俣町/代表:齋藤 泰行 氏)

- ・支援テーマ : 世界一薄い絹織物「妖精の羽(フェアリー・フェザー)」を使用した製品開発とブランディング支援
- ・支援期間 : 平成 24 年 10 月～平成 25 年 9 月

⑦武輪水産(株)(青森県八戸市/代表:武輪 俊彦 氏)

- ・支援テーマ : 「鯖スパイシーマリネ」新規販路開拓支援
- ・支援期間 : 平成 25 年 1 月～平成 25 年 12 月

⑧(株)佐渡乳業(新潟県佐渡市/代表:高橋 一五(かずゆき)氏)

- ・支援テーマ : ナチュラルチーズ&デザート在全国ブランディング支援
- ・支援期間 : 平成 25 年 4 月～平成 26 年 9 月

⑨アンデックス(株)(仙台市青葉区/代表取締役社長:三嶋 順 氏)

- ・支援テーマ : ソフトウェアパッケージ「SMART-Transport」の販売支援
- ・支援期間 : 平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月

⑩久慈琥珀(株)(岩手県久慈市/代表取締役社長:向 正彰 氏)

- ・支援テーマ : 久慈琥珀(株)のブランディング支援
- ・支援期間 : 平成 25 年 7 月～平成 26 年 6 月



⑪(有)二唐刃物鍛造所(青森県弘前市/代表取締役社長:吉澤 俊寿 氏)

- ・支援テーマ : 作刀技術・和包丁の海外向け新ブランド戦略支援
- ・支援期間 : 平成 25 年 10 月～平成 26 年 9 月

⑫(株)川喜(岩手県釜石市/代表取締役社長:川端 力 氏)

- ・支援テーマ : アルコールフリーで保存可能な“ヘルシー生そば”のブランド戦略支援
- ・支援期間 : 平成 25 年 10 月～平成 26 年 9 月

⑬農業生産法人(有)今野醸造(宮城県加美郡/代表取締役社長:今野 昭夫 氏)

- ・支援テーマ : 仙台味噌を用いた新しい調味料開発とそのブランド戦略支援
- ・支援期間 : 平成 25 年 10 月～平成 26 年 9 月

⑭(株)大武ルート工業(岩手県一関市/代表取締役社長:太田 義武 氏)

- ・支援テーマ : 「自動ネジ供給機」の販売網再構築と新規販路の開拓
- ・支援期間 : 平成 26 年 1 月～平成 26 年 12 月

⑮(有)峰の雪酒造場(福島県喜多方市/代表取締役社長:佐藤 利也 氏)

- ・支援テーマ : 蜂蜜酒「AIZU MEAD (アイズ・ミード)」のブランディング支援
- ・支援期間 : 平成 26 年 1 月～平成 27 年 3 月

⑯マルニ食品(株)(宮城県登米市/代表取締役:二階堂 玲子 氏)

- ・支援テーマ : 宮城県産小麦品種「あおぼの恋※2」による新商品開発支援
- ・支援期間 : 平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月

⑰合同会社ナチュール青森(青森県青森市/代表社員CEO:工藤 真義 氏)

- ・支援テーマ : 青森の厳選食材を使用したスイーツブランド
- ・支援期間 : 平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月

⑱(株)今井産業(青森県平川市/代表取締役:今井 公文 氏)

- ・支援テーマ : 青森県産材の杉・りんご樹の端材を活用した木質新素材「e・Wood+」の知的財産事業化支援
- ・支援期間 : 平成 26 年 7 月～平成 27 年 6 月

⑲(株)宮城化成(宮城県栗原市/代表取締役:小山 昭彦 氏)

- ・支援テーマ : 不燃性・光透過性を有する新規複合材のマーケティング
- ・支援期間 : 平成 26 年 7 月～平成 27 年 6 月

⑳非公開

㉑(有)みちのく福島路ビール(福島県福島市/代表取締役:吉田 重男 氏)

- ・支援テーマ : 福島県産原料等を使用した地ビールのマーケティング支援
- ・支援期間 : 平成 26 年 10 月～平成 27 年 9 月

㉒(株)杉田味噌醸造場(新潟県上越市/代表取締役:杉田 文子 氏)

- ・支援テーマ : 伝統と技術を活かした味噌製品のリニューアルと新製品開発によるマーケットブランドの事業化
- ・支援期間 : 平成 27 年 1 月～平成 28 年 12 月



②③大島グループ(株)宇喜世ほかグループ企業 10 社(新潟県上越市/代表:大島 誠 氏)

- ・支援テーマ : 北陸新幹線着地マーケットに対する「百年料亭宇喜世」を核にした地域産品・観光回遊の事業化
- ・支援期間 : 平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月

②④農業生産法人(有)伊豆沼農産(宮城県登米市/代表取締役社長:伊藤 秀雄 氏)

- ・支援テーマ : 地域資源を活用した伊豆沼食農体験ファーム新事業展開支援
- ・支援期間 : 平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月

②⑤(株)いわきチョコレート(福島県いわき市/代表取締役:柳沼 大介 氏)

- ・支援テーマ : めひかり塩チョコなど既存商品販路の再構築戦略と販路ターゲットを明確にした新商品の開発支援
- ・支援期間 : 平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月

②⑥佐渡乳業(株)(新潟県佐渡市/代表取締役社長 竹内 秀明 氏)

- ・支援テーマ : 農場ナチュラルチーズの直販体制の強化とブランディング支援
- ・支援期間 : 平成 27 年 7 月～平成 28 年 3 月

②⑦久慈琥珀(株)(岩手県久慈市/代表取締役社長 向 正彰 氏)

- ・支援テーマ : リファインド・アンバー(精製琥珀)による新製品デビューを機にしたブランディング支援
- ・支援期間 : 平成 27 年 7 月～平成 28 年 3 月

②⑧(株)磐城高箸(福島県いわき市/代表取締役 高橋 正行 氏)

- ・支援テーマ : おめでた箸および派生製品のブラッシュアップと拡販支援
- ・支援期間 : 平成 27 年 7 月～平成 28 年 3 月

②⑨(株)ツガルサイコー(青森県黒石市/代表取締役 福士 拓弥 氏)

- ・支援テーマ : 津軽の観光資源を活用した外国人観光客の誘客支援
- ・支援期間 : 平成 27 年 7 月～平成 28 年 3 月

③⑩中村物産(有)(宮城県仙台市/代表取締役 中村 拓造 氏)

- ・支援テーマ : 地盤置換工法「コロンブス」マーケティング支援
- ・支援期間 : 平成 27 年 7 月～平成 28 年 3 月

③⑪IMTエンジニアリング(株)(新潟県妙高市/代表取締役 富田 ゆきし 氏)

- ・支援テーマ : 「妙高ゆきエビ」のマーケティング戦略およびブランド構築支援
- ・支援期間 : 平成 28 年 8 月～平成 29 年 7 月(12 カ月)

③⑫(株)ティ・ディ・シー(宮城県宮城郡利府町/代表取締役社長 赤羽 優子 氏)

- ・支援テーマ : 超精密研磨技術の加速器分野への展開を目指すマーケティング支援
- ・支援期間 : 平成 29 年 1 月～平成 29 年 12 月(12 カ月)

③⑬(株)シオン(岩手県紫波郡矢巾町/代表取締役 石川 公一郎 氏)

- ・支援テーマ : 世界初・塗るだけで防炎塗膜化する木部専用国産自然塗料のマーケティング支援



・支援期間：平成29年4月～平成30年3月（12カ月）

③④まるい食品(株)（山形県鶴岡市/代表取締役社長 伊藤 久美 氏）

・支援テーマ：山形県産こんにゃく芋をまるごと使った

新スタイルこんにゃくデリカのシリーズ開発と販売に向けた事業化支援

・支援期間：平成30年1月～平成30年12月（12カ月）

③⑤(株)空地音ハーモニー（宮城県仙台市/代表取締役 菊池 美鷗 氏）

・支援テーマ：世界遺産を核としたプレミアムウェディング・ツーリズム『みちのく和婚®』のコーポレートブランディングと連携・波及事業化

・支援期間：平成30年5月～平成31年4月（12カ月）

③⑥(有)三陸とれたて市場(岩手県大船渡市/代表取締役 八木健一郎 氏)

・支援テーマ：「三陸の海産物の美味しさを封じ込め」安定して届ける取組み
～地域の稼ぐ力を高める付加価値型のビジネスモデルの提案～

・支援期間：令和元年9月～令和2年8月（12カ月）

③⑦(株)アクトラス(秋田県横手市/代表取締役 眞田 慎 氏)

・支援テーマ：医理工連携プロジェクト「患者見守りシステム」の普及拡大
～秋田県が抱える課題解決に向けた取組みから開発された新システムを
全国に広める～

・支援期間：令和2年2月～令和3年1月（12カ月）

③⑧(株)肉のふがね(岩手県岩手町/代表取締役 府金 伸治 氏)

・支援テーマ：希少銘柄「いわて短角牛」の高付加価値化及び地域と連携した稼ぐ畜産
モデルの構築

・支援期間：令和2年4月～令和3年3月（12カ月）

③⑨元正榮北日本水産(株)(岩手県大船渡市/代表取締役社長 古川 季宏 氏)

・支援テーマ：国内最大級養殖場での「クリーン海水掛け流し」&「無添加飼料」による
極上エゾアワビ ～三陸発・完全陸上養殖システムを活かした“安心・安全・安定”リテール供給事業～

・支援期間：支援期間：令和2年7月～令和3年6月（12カ月）

④⑩上越ケーブルビジョン(株)(新潟県上越市/代表取締役社長 齋藤 俊幸 氏)

・支援テーマ：東京交通会館への全国初民間直営アンテナ ショップ『雪國商店』新設を
核とした「放送通信 事業+地域商社」による上越妙高地域産品の 首都圏
ダイレクト販売ビジネスモデルの確立

・支援期間：令和2年11月～令和3年12月（14カ月）

④⑪(株)カネク醸造(青森県八戸市/代表取締役社長 山形 琢一 氏)

・支援テーマ：モノづくり産業から食産業へ、第二創業＝「地域連携・資源活用」による
八戸初のクラフトビール開発とブランド確立

・支援期間：令和3年7月～令和4年6月（12カ月）



④②(有)ファーム・ソレイユ東北(宮城県石巻市/代表取締役 日野 雅晴 氏)

- ・支援テーマ：地域連携・事業継承・自社工場新設による商用北限・桃生茶の和紅茶全国展開
- ・支援期間：令和4年4月～令和5年3月（12カ月）

④③(株)亀山鉄工所(宮城県仙台市/代表取締役 平川 章 氏)

- ・支援テーマ：宮城バリューチェーンによる非接触型三次元ボールミル&シェーカー「HYPER SHAKER」の新事業開発
- ・支援期間：令和4年4月～令和5年3月（12カ月）

④④(株)グリーディー(宮城県仙台市/代表取締役 濱出 理加 氏)

- ・支援テーマ：地産地消から地産来消・地産外商へ～東北素材を活用したアメニティ新事業ブランディング
- ・支援期間：令和5年10月～令和6年9月（予定）（12カ月）

④⑤(株)ミューラボ(福島県福島市/代表取締役社長 伏見 雅英 氏)

- ・支援テーマ：小型精密減速機の成熟市場に「堅牢・高トルク」のブランディングで風穴を開ける
- ・支援期間：令和6年1月～令和6年12月（予定）（12カ月）

II. 東経連ビジネスセンターの概要(平成23年4月設立)

1. 目的

東北7県の産学官+金融が総力をあげて、新しい東北「産学官グローバル・イノベーション・ゾーン東北の創生」に取り組み、東北の高い技術力や優れた地域資源を活かして新製品開発等に挑戦し、雇用増等、地域経済にインパクトを与え、成長モデルとなり得る企業・事業の創出を図る。

2. 活動期間 15年間（平成23年4月～令和8年3月）

3. 組織形態 東北6県及び新潟県の支援機関、大学研究機関、大手企業を会員とする任意団体

4. 活動経費 年間1億円程度

5. 事務局所在地 東経連事務局内（宮城県仙台市）

6. 主な事業内容

- (1) 国際競争力の高い地域イノベーション拠点の形成強化
- (2) 産学官金共創・デジタル化による成長促進
- (3) 世界最先端研究開発プロジェクト（放射光、ILC等）の誘致を契機とした次世代に繋がる新産業の創造



Ⅲ. マーケティング・セールス戦略支援事業

1. 概要

成長志向を持って取り組む東北6県及び新潟県の事業が対象となる支援制度です。当センターでは、まずは専門家によるヒアリング（プレビューミーティング）を実施、その後に専門家で組織する支援選定会議（マーケティング・セールス戦略支援会議）で支援採択の可否を判断します。支援が決まったら事業の課題解決に適した支援内容と各方面の専門家からなる独自の支援チームを編成します。事業者側は、1年間の支援期間内、必要の都度支援チームのサポートを得て課題解決に取り組んでいきます。

2. 応募資格

（1）対象となる事業者

東北6県及び新潟県に拠点を置く、中小企業や団体を始め、地域未来牽引企業や大学発ベンチャーが対象となります。

（2）対象となる具体的事業

「雇用創出や新たに投資を誘発するなど地域経済に影響をもたらす成長事業」、「新規性など成長が見込める技術力を有する事業」、「異業種や大学などが連携して新しい価値を創出する事業」などのように、東北の「稼ぐ力を高める」ことに資する事業が対象となります。具体的には次の項目となります。

- ① 農林水産業や観光産業、伝統産業等が東北域内で連携し、地域発のブランドとして魅力を発信する事業
- ② 新規性や優位性の高い商品や技術開発力を有するものづくり事業
- ③ 東北の産業が域内外異業種等と連携し、新たな価値を創出する事業
- ④ 大学等の研究シーズを活かし、新たな価値を創出する事業
- ⑤ I L C、加速器関連プロジェクトに関する要素技術の開発に貢献する事業
- ⑥ 自動車、航空宇宙産業等のものづくり技術の進化に貢献する事業
- ⑦ デジタル化、その先のD Xの推進により、新たな価値を創出する事業

3. 支援内容

下記の7分野から、当該企業の事業テーマに応じた支援チームを編成します。

（1）マーケティング戦略立案・実行支援

ネットリサーチ、フォーカス・グループ・ミーティング等のマーケティング・リサーチに基づく、差別化ポイントの明確化及び価格、流通、プロモーション等の戦略構築支援

（2）ブランディング支援

ネットリサーチ、ネガティブチェック等によるブランドネーム、ロゴ、シンボル等ブランド要素の構築支援

（3）営業販促ツール・ホームページ強化支援



マーケティング・リサーチに基づく、販促ツール、ホームページ改定のアドバイス

(4) セールス戦略支援

マーケティング・リサーチに基づく、新たな販路開拓支援

(5) 知的財産戦略支援

特許、商標の出願、補正の実施および戦略構築支援

(6) 法務支援

販売契約書等の法務チェック支援

(7) ファイナンス戦略支援

資本政策等に関するアドバイス

4. 支援の特徴

民間支援ならではの、実効性ある 4 つのメリットが特徴です。

(1) 上記 7 分野より、事業の課題解決に適した独自の支援チームを編成します。

(2) 当センターで編成する支援チームのサポート費用（マーケティング・リサーチ費、パンフレット・デザイン費など）は、200 万円まで負担します。

(3) 年度等の区切りはなく常時募集していますので、事業の進捗等に応じて、いつでもお申し込みが可能です。支援期間は、決定から 1 2 カ月間となります。

(4) 国や県など公的助成に認定されている事業に、当センター事業をセットして追加支援・連携支援することが可能です。